



Special Olympics Nippon

2012年 第5回 スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島 大会概要

★開催趣旨

＊知的発達障害のある人のスポーツプログラム成果の発表の場として提供される全国大会としての競技会である。
＊2013年に韓国江原道・平昌(ピョンチャン)で開催される「2013年第10回スペシャルオリンピックス冬季世界大会」の日本選手団選考も兼ねる。

★大会スローガン

「心強く、心豊かに、心一つに 心うつくしまふくしま」

★期間

2012年 2月10日(金)～2月12日(日) 3日間

2月10日(金) 開会式 | 2月11日(土) 競技 | 2月12日(日) 競技・閉会式

★実施競技および会場

開会式……………猪苗代町総合体育館「カメリーナ」
 アルペンスキー……………沼尻スキー場
 スノーボード……………沼尻スキー場
 クロスカントリースキー……………沼尻スキー場
 スノーシューイング……………沼尻スキー場
 ショートトラックスピードスケート……………磐梯熱海アイスアリーナ
 フィギュアスケート……………磐梯熱海アイスアリーナ
 フロアホッケー……………猪苗代町総合体育館「カメリーナ」
 閉会式……………猪苗代町総合体育館「カメリーナ」

選手団宿舎

- 雪上競技
田村屋旅館・沼尻高原ロッジ・のんびり館(猪苗代町沼尻温泉)
- 氷上競技
清稜山倶楽部(郡山市磐梯熱海温泉)
- フロアホッケー
白城屋・平澤屋・花見屋(猪苗代町中ノ沢温泉)

★参加人数(予定)

選手団約……………1,100名(アスリート約700名、団長・副団長・コーチ約400名)
大会役員・スタッフ・ボランティア……………約3,000名

★主催・主管

主 催:認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本
主 管:スペシャルオリンピックス日本・福島
運営主体:2012年第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島実行委員会

大会日程

2月9日※ 各会場設営

開始	終了	内容	場所
～	15:00	ハルシーアスリート®プログラム(HAP)(主に雪上・氷上競技対象)	猪苗代町体験交流館「学びいな」
15:00	～ 17:00	開会式	猪苗代町総合体育館「カメリーナ」
17:00	～ 18:00	各宿舎へ移動・チェックイン	各宿舎
18:00	～	夕食・ヘッドコーチミーティング・入浴・消灯	各宿舎

2月10日☉

開始	終了	内容	場所
～	8:00	起床・朝食・出発準備	各宿舎
8:00	～ 9:00	各競技会場へ移動	
9:00	～ 18:00	競技	各競技会場
		HAP(主にフロアホッケー対象)	猪苗代町体験交流館「学びいな」
14:00	～ 17:00	(体験プログラム)	沼尻スキー場
17:00	～ 18:00	各宿舎へ移動	
18:00	～ 19:00	夕食	各宿舎
19:00	～ 20:00	選手団交流会	各エリアのうち一つの宿舎へ集合
20:00	～	ヘッドコーチミーティング・入浴・消灯	各宿舎

2月12日☽

開始	終了	内容	場所
～	8:00	起床・朝食・出発準備	各宿舎
8:00	～ 9:00	各競技会場へ移動	
9:00	～ 15:00	競技	各競技会場
15:00	～ 17:00	閉会式会場へ移動	
17:00	～ 18:00	閉会式	猪苗代町総合体育館「カメリーナ」
18:00	～	解散	

会場

猪苗代町総合体育館「カメリーナ」	開閉会式 フロアホッケー
沼尻スキー場	アルペンスキー
	スノーボード
	クロスカントリースキー
	スノーシューイング 体験プログラム
磐梯熱海アイスアリーナ	ショートトラックスピードスケート フィギュアスケート
猪苗代町体験交流館「学びいな」	ハルシーアスリート®プログラム(HAP)

宿舎

沼尻温泉	雪上競技
中ノ沢温泉	フロアホッケー
磐梯熱海温泉	氷上競技



2012年 第5回 スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島

ご協賛のお願い

スペシャルオリンピックスに関するお問い合わせ先

2012年 第5回 スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島 実行委員会事務局

〒963-0198 福島県郡山市安積町笹川字経担45 あさかホスピタル内3F

TEL:024-937-2144 FAX:024-937-2145 E-mail:song2012@son.or.jp

スペシャルオリンピックス

認定 NPO法人 スペシャルオリンピックス日本

〒105-0003 東京都港区西新橋2-22-1 西新橋2丁目森ビル7F TEL:03-6809-2034 FAX:03-3436-3666 URL:http://www.son.or.jp



Special Olympics Nippon

2012年 第5回 スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島 大会応援プロジェクト



Special Olympics Nippon
National Winter Games
FUKUSHIMA 2012

スポーツの感動を通して、垣根のない社会を創る。

みなさま、スペシャルオリンピックス(SO)をご存知でしょうか？
 スペシャルオリンピックスは、知的発達障害のある人たちに継続的なスポーツトレーニングとその発表の場である競技会の提供をすることを使命とし、活動を通して彼らの自立と社会参加を促進し生活の質を豊かにすることを目的としております。

アメリカで誕生したSO活動は、その誕生から40年以上の歴史を重ね、活動を世界170カ国以上に広げ、創始者ユニス・ケネディ・シュライバーが生涯貫いた信念に基づき、社会を変えるグローバルなムーブメントとなっています。

2011年6月～7月にかけてオリンピック発祥の地 ギリシャ共和国 アテネでスペシャルオリンピックス夏季世界大会が開催されました。日本からは75名の選手団を派遣し、私自身は団長として参加してまいりました。アスリート一人一人の競技者としての思いを大切に、目標に向かってチャレンジできるように全力でサポートしてまいりました。

さて、3月の東日本大震災では、被害の大きかった宮城・岩手・福島を中心に東北地方各地において、幸いにもアスリート全員の無事を確認することができました。しかしながら、東北及び関東地方においても今回の震災の影響により不自由な生活をしているアスリートも多く、プログラムの中止を余儀なくされている地区もございます。

このような状況の中で、私たち SO 日本ではこれまで培ったノウハウを活かし、一日でも早く、被災地やその影響を受けている各地区で、アスリートを含めた関係者の生活が改善されるよう、また、被災を受けた多くの知的発達障害のある人たちのためにも、SO 日本だからできる支援に努めて参りたいと存じます。

今後とも、一人でも多くの皆さまのご理解、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本

理事長 有森裕子



心強く、心豊かに、心ひとつに 心うつくしま ふくしま。

このたびの東日本大震災におきまして被害を受けられた皆さま、そのご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

私達は、昨年の10月にナショナルゲームの開催地の打診を受けてから、福島ではまだ知られていない本大会へのご協力とご理解のために関係機関を訪問させていただいてまいりました。本年1月に実行委員会を設立し、4月にはチャリティパーティーなどを企画し、これから皆さまに大会概要や関連する様々なご案内を送る準備をしている矢先に東日本大震災が起きました。

このような状況の福島で本大会を開催する意義について、そして何より参加して下さる皆さまの安全性について、震災直後よりSO日本と協議してまいりましたが、6月に改めてSO日本より「SOの仲間として大会に参加する事で福島を支援したい」という温かい励ましの言葉とともに、福島大会開催の決定を受けました。

全国のSOに関わる方や地域の皆さまからも「福島を元気にしよう!」というエールをいただき、とても勇気づけられました。私たちは、この困難の中でもスポーツを愛する前向きさと、支えあう仲間のいることに誇りを感じます。被災地である福島の地で、皆さんの一生懸命競技に励む姿やたくさんの勇気と笑顔があふれることは、多くの方を元気づけることができるでしょう。

大会のスローガンとして掲げた「心強く、心豊かに、心ひとつに 心うつくしま ふくしま」のもと、自然が豊かでうつくしい福島で、この大会に関わっていただく皆さま全員が、心を強くし、心が豊かになり、心をひとつにする事の素晴らしさを感じていただくことができればと考えております。

心に残る大会となるよう、福島から元気を発信してまいります。ぜひ、皆さまの温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

2012年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島

実行委員会 委員長 石久向啓



スペシャル
 オリンピックス
 とは



活動の始まり

SOは、故ケネディ大統領の妹ユニス・シュライバー婦人が自宅の庭を知的発達障害のある人たちに解放したデイキャンプが始まりです。1968年に「スペシャルオリンピックス」として組織化された本活動は、現在175カ国に広がり、310万人の知的発達障害のある人(アスリート)が参加し、75万人のボランティアが活動を支えています。日本では2008年4月より、オリンピック女子マラソンメダリスト有森裕子が理事長を務めています。

身近な日常のトレーニングから、世界大会まで

SOは、年間を通じてオリンピック競技種目に準じた様々なスポーツトレーニングを提供しています。参加したアスリートが健康を増進し、勇気をふるい、喜びを感じ、家族や地域の人々と、才能や技能をそして友情を分かち合う機会を、継続的に提供することが、SOの大切な使命です。また、日常的なスポーツトレーニングプログラムの成果を発表する場として、競技会を開催。地区大会・全国大会、そして、夏期・冬季それぞれ4年に1度、世界175の国や地域の人々が参加して行われる世界大会があります。



応援したい、感動がある。

あなたのサポートで、SO 日本冬季ナショナルゲーム・福島 を成功へ!





**2012年第5回スペシャルオリンピックス日本
冬季ナショナルゲーム・福島**

ご協賛のお願い



このたびの東日本大震災と原発事故におきまして被害を受けられた皆さま、そのご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

また平素はスペシャルオリンピックスの活動にご理解を賜り、深く御礼申し上げます。

この福島で「2012年第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島」(略称:スペシャルオリンピックス福島大会)を開催するにあたり、全国のスペシャルオリンピックス(SO)に関わる方や地域の皆さまからも「SOで福島を元気にしよう」という温かい励ましをいただき、とても勇気づけられました。私たちは、この困難の中でもスポーツを愛する前向きさと、支えあう仲間がいることに誇りを感じます。被災地である福島の地で全国規模の大会が開催され、一生懸命競技に励む姿やたくさんの勇気と笑顔があふれることは、多くの方を元気づけることができると確信しております。

SOの運営は、ボランティアと善意の寄付によって支えられています。SO福島大会でも、郡山市、猪苗代町を会場に約1,100人の選手団の他、大会役員、スタッフ、ボランティアを加えると約4,100名が参加しますが、その運営のほとんどをボランティアおよび企業・団体・個人のご寄付や物品等のご提供で支えていただく予定です。

つきましてはSO福島大会の実施にあたり、各企業や団体、個人の方々よりのご協賛を賜りたいと存じ上げます。ぜひ、SOの趣旨・活動にご賛同いただき、SO福島大会を成功させたいと考えておりますのでご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

「心強く、心豊かに、心ひとつに 心うつくしま ふくしま」のテーマのもと心に残る大会となるよう、福島から元気を発信してまいります。ぜひ、皆さまの温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。



大会実行委員長 西田 直樹

知的発達障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織がスペシャルオリンピックス(SO)です。

1962年に故ケネディ大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバー夫人が、自宅の庭を開放して開いたデイ・キャンプがスペシャルオリンピックス(SO)の始まりです。知的発達障害があるために、まだ一度もプールで泳いだり、トラックを走ったり、バスケットボールをしたことがない人たちにスポーツを提供する、それが彼女の願いでした。実は彼女の姉ローズマリーには、知的発達障害がありました。

1968年にジョセフ・P・ケネディJr財団の支援により組織化され、「スペシャルオリンピックス」となり、全米から世界へと広がっています。本部はアメリカ、ワシントンD.C.にあり、170カ国以上で、約370万人のアスリート(SOではこれらのスポーツ活動に参加する知的発達障害のある人たちをアスリートと呼んでいます)と85万人以上のボランティアが活動に参加しています。

日本でも1980年に「日本スペシャルオリンピックス委員会(JSOC)」が設立され活動を行い、1991年夏の世界大会に熊本から参加した10才のアスリートと彼女を育てたボランティアコーチが、体操競技で銀メダルを獲得しました。ダウン症と難聴のあるアスリートの快挙は多くの人々の感動を呼び、熊本の地でボランティアの輪が広がり、1993年「スペシャルオリンピックス熊本」が発足、翌1994年11月に国内の本部組織である「スペシャルオリンピックス日本(SON)」が設立されました。

現在は47都道府県全てに活動が広がり、全国で7,600人を超えるアスリートと17,000人以上のボランティアが参加しています。

スペシャルオリンピックス日本は2001年5月22日、特定非営利活動法人(NPO法人)として内閣府より認証を受け、2006年7月より認定NPO法人として国税庁からの認定を受けています。



スペシャルオリンピックス 日本・福島

わたしたちは、精一杯力を出して
勝利をめざします。
たとえ勝てなくても、
がんばる勇気を与えてください。

地区組織として福島が正式に認定されたのが2010年2月のことでした。設立準備委員会から数えると10年以上かけてのことでしたが、長い経過の中、多くの地域の方々、企業の皆さまに支えていただいていたことまでまいりました。

2010年10月にナショナルゲームの開催地の打診を受け、福島ではまだ知られていない本大会へのご協力とご理解のために関係機関を訪問させていただきました。2011年1月に実行委員会を設立し、4月にはチャリティパーティーなどを企画し、これから皆さんに大会概要や関連する様々なご案内を送る準備をしている矢先に東日本大震災が起こりました。

このような状況の福島で本大会を開催する意義について、そして何より参加して下さる皆さまの安全性について、震災直後よりSONと協議してまいりましたが、全国のSOに関わる方や地域の皆さまからも「福島を元気にしよう」というエールをいただき、6月に改めてSONより「SOの仲間として大会に参加する事で福島を支援したい」という温かい励ましの言葉とともに、ナショナルゲーム福島大会の開催を決定いたしました。

大会スローガン

「心強く、心豊かに、心ひとつに 心うつくしまふくしま」

知的発達障害のある人のスポーツプログラム成果の発表の場として提供される全国大会としての競技会として、全国各地でスポーツプログラムに参加しているアスリートが日頃のトレーニングの成果を競い合い、喜びを共にする、オリンピック形式のスポーツ大会です。

競技だけでなく開・閉会式や表彰式、宿舎での共同生活などを通して、アスリートは自立性と社会性を高め、ボランティアを含むすべての参加者が交流し、理解と友好を深めます。

全国的にスペシャルオリンピックスの知名度を高めて活動の輪をさらに大きく広め、アスリートに対する理解を深めるとともに、より多くの人たちの心のバリアフリーを促進する機会とします。

2013年に韓国江原道・平昌(ピョンチャン)で開催される「2013年第10回スペシャルオリンピックス冬季世界大会」の日本選手団選考も兼ねています。

応援したい、感動がある。

スペシャルオリンピックス福島大会 2012年2月10日～12日



- 1.大会名称… 2012年第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島(略称:スペシャルオリンピックス福島大会、SO福島大会)
- 2.主 催… 認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本 東京都港区西新橋2-22-1 西新橋2丁目森ビル7階
- 3.共 催… 福島県・郡山市・猪苗代町
- 4.運営主体… 2012年第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島実行委員会
福島県郡山市安積町笹川字経坦45 あさかホスピタル内3F
- 5.主 管… スペシャルオリンピックス日本・福島
福島県郡山市安積町笹川字経坦28 知的障がい児施設 安積愛育園内
- 6.開催期間… 2012年(平成24年)2月10日(金)～2月12日(日)
- 7.開催場所…
- | | |
|------------------|------------------|
| 開会式 | 猪苗代町総合体育館「カメリーナ」 |
| アルペンスキー | 沼尻スキー場 |
| スノーボード | 沼尻スキー場 |
| クロスカントリースキー | 沼尻スキー場 |
| スノーシューイング | 沼尻スキー場 |
| ショートトラックスピードスケート | 磐梯熱海アイスアリーナ |
| フィギュアスケート | 磐梯熱海アイスアリーナ |
| フロアホッケー | 猪苗代町総合体育館「カメリーナ」 |
| 閉会式 | 猪苗代町総合体育館「カメリーナ」 |
- 8.参加人数…
- | | |
|-----|-------------------------------------|
| 選手団 | 約1,100名(アスリート約700名、団長・副団長・コーチ約400名) |
| 関係者 | 約3,000名(大会役員・スタッフ・ボランティア) |



スペシャルオリンピックス福島大会スポンサーシップ

Fukushima Encourage Sponsorship

東日本震災からの復興と原発事故の収束を願う中、福島におけるスペシャルオリンピックス冬季大会の開催は、スポーツを通じた知的障害のある人々への自立と社会参加という本来の目的に加え、**福島に元気と勇気をもたらし、福島の人々と共に生きていることの喜び、尊さ、そして感謝の気持ちを共有する復興支援のプログラムでもある**と捉えています。

福島大会では「Fukushima encourage sponsorship (福島エンカレッジ・スポンサーシップ)」という新たなスポンサーシップを設け、以下のように協賛社・寄付者を募ってまいりたいと考えておりますので、次ページのスポンサーシップメニューをご確認の上、多くの皆さまの温かいご支援とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

Fukushima Encourage Partner **【福島エンカレッジ・パートナー】**

Fukushima Encourage Supporter **【福島エンカレッジ・サポーター】**

Fukushima Encourage Member **【福島エンカレッジ・メンバー】**

Fukushima Encourage Sponsorship 7

ロゴマーク使用権等

区分	内容	エンカレッジ・パートナー Encourage Partner		エンカレッジ・サポーター Encourage Supporter		エンカレッジ・メンバー Encourage Member	
		300万円以上		100万円以上300万円未満		10万円以上100万円未満	
大会ロゴマーク使用権		<input checked="" type="radio"/>	自社商品・宣伝広告への使用含む	<input type="radio"/>	広報活動への使用		
大会呼称件	「SO福島大会を応援しています」等	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	

リコグニッションプログラム(社名の掲示等)

刊行物等	大会ウェブサイト	<input type="radio"/>	集合ロゴ(大)	<input type="radio"/>	集合ロゴ(小)	<input type="radio"/>	連名統一書体
	大会プログラム	<input type="radio"/>	集合ロゴ(大)	<input type="radio"/>	集合ロゴ(小)	<input type="radio"/>	連名統一書体
	ボランティアオリエンテーション資料	<input type="radio"/>	集合ロゴ(大)	<input type="radio"/>	集合ロゴ(小)		
	ニュースレター(大会特集号)協賛ページ掲載	<input type="radio"/>	集合ロゴ(小)	<input type="radio"/>	連名統一書体	<input type="radio"/>	連名統一書体
看板パネル	各会場リコグニッション・サインの設置	<input type="radio"/>	集合ロゴ(中)	<input type="radio"/>	集合ロゴ(小)		
バナー	競技会場装飾バナー掲出	<input type="radio"/>	全競技会場への掲載権(無償)	<input type="radio"/>	全競技会場への掲載権(有償)		
その他	放送紹介(開閉会式)	<input type="radio"/>					

ホスピタリティプログラム(大会へのご招待等)

開閉会式へのご招待		<input type="radio"/>	来賓席(席数は協議)	<input type="radio"/>	来賓席(席数は協議)	<input type="radio"/>	一般観覧席(1名)
大会レセプションのご案内	会費制	<input type="radio"/>	優先案内	<input type="radio"/>			
駐車許可証のご提供	会場へのスムーズな入場	<input type="radio"/>					
各競技へのご招待		<input type="radio"/>	優先案内	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
表彰プレゼンター登録		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			

*リコグニッションにおけるロゴマーク掲載に際しサイズや場所等はSONナショナルパートナーが優先されます *リコグニッションにおいてデザイン等が必要な際には別途申し受けます